

平成 23 年 8 月

ご関係各位

雑誌広告デジタル送稿推進協議会

「JMPA カラー色基準バージョンアップ (Ver.3.00) のお知らせ」

日頃は雑誌広告デジタル送稿推進協議会の諸活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。ご迷惑をおかけしております。

さて、この度雑誌広告デジタル送稿推進協議会は、現在純広告にて運用中の JMPA カラー色基準を 9 年ぶりに改定し、バージョンアップ版の「JMPA カラーVer.3.00」の運用を開始することになりました。製版がポジフィルムからの PS 版が主流だった 9 年前当時と比べ、現在では CTP によるデジタルデータを用いたデジタルワークフローが主流となり、印刷機・インキにおいても改良が加えられ、印刷品質の向上が図られています。これを受けまして、この度現在の印刷環境に適した JMPA カラー色基準にバージョンアップする運びとなりました。11 月 1 日(火)より運用開始のオンライン送稿も、すべて「JMPA カラーVer.3.00」での対応となり、より精度の高い安全なデータが送れるようになります。

広告掲載誌の「11 月 2 日発売分」から月刊誌・週刊誌等の刊行形態を問わず、印刷会社側では「JMPA カラーVer.3.00」の運用を開始致します。去る 7 月 5 日には「雑誌デジ送ナビ」掲載の製版会社様、プリンターメーカー様にはご案内を終えており、また印刷会社各社様には印刷工業会より、7 月下旬にご報告済みです。11 月 2 日以降の発売分に関しては「JMPA カラーVer.3.00」の仕様でデータを制作されるよう制作担当者の方にご指示をお願いします。何卒ご理解の上ご協力、ご対応の程よろしくお願い致します。

対応時期 : 2011 年 11 月 2 日(水) 発売の広告掲載誌より

入稿(校了)時期 : 10 月初旬～中旬

(11 月 2 日は発売日ですので、実際の運用開始は 10 月初旬～中旬になります。発売日を起点にしているため運用期日は雑誌によって前後致します。)

※11 月 2 日発売分以降に「JMPA カラーVer.2.01」で作成されたデータで入稿された場合でも「JMPA カラーVer.3.00」の色基準での印刷になりますが、その新しい特性は反映されません。より安全で精度の高い再現性を得るためにも、速かな「JMPA カラーVer.3.00」への移行をお願い致します。

JMPAカラーとは

JMPA カラー（雑誌広告基準カラー）とは、雑誌広告の制作から送稿、印刷に至る全てのフローにおいて、デジタルプルーフを運用するための「色基準」のことです。つまり、雑誌広告であれば、それに関わるどのプレイヤーでも同じ色調の出力を出せるための必須条件です。JMPA カラーを運用することによって、それぞれにバラバラな運用がされていた「色基準」をある一定の範囲内で共通に取り扱うことが可能となり、広告業界全体のワークフロー改善につながることを目的としています。

JMPAカラーVer.3.00の具体的な変更点

1. 印刷物をベースにしたカラー基準

Ver. 2.01 を含むこれまでの JMPA カラー基準では当時の DDCP で再現可能な色再現を標準化し、オフセット印刷機でも再現可能であるという実証を元に策定されておりましたが、Ver. 3.00 においては DDCP からではなく、CTP 刷版から作成したオフセット輪転機での標準的な印刷物をベースに作成しているため、雑誌広告で使用される条件に最も近い色再現基準と言え、DDCP と印刷のマッチング精度が向上します。

2. 色域の拡大

マゼンタからレッドの領域でより高彩度側に色域が広がっております。

3. ベンダーキットに官能評価用自然画像を追加

ベンダーキットに官能評価用自然画像を4点新たに追加しました。従来画像では確認出来なかった色領域（特にセピア系、4色モノクロ系、濃紺系、茶系）について、より合せこみを容易にし、また視覚的にマッチング精度の確認ができるようにしました。

※JMPA カラーに関するお問い合わせ先

雑誌デジ送ナビ

http://www.3djma.jp/kiso_03_01.html

※ベンダーキット Ver.3.00 に関するお問い合わせ先

日本雑誌協会ホームページ

info@j-magazine.or.jp

をご参照ください。